

学校だより

いしづえ

甲斐市立双葉東小学校

平成22年1月13日号

美しいことば

あけましておめでとうございます。各家庭におかれましては平成22年(2010年)の新春を迎え、希望に満ちた正月を過ごしたことと思います。昨年は、大過なくすごすことができ、子ども達のすばらしい成長を見ることが出来ました。これもひとえに保護者の皆様、並びに地域の皆様のおかげと感謝しています。双葉東小学校の子どもたちの健全な育成は、学校教育だけで達成できるものではありません。今年も昨年同様、双葉東小学校教育に対し、絶大なるご支援・協力をお願い申し上げます。

さて、3学期始業式が8日(金)に行われました。児童代表3名による、とても立派な『新年の決意と3学期への目標』の発表の後、交通安全担当教師から子ども達に次のような話がありました。

「先日、地域にお住まいの方から、最近の東小の子どもたちについて『以前にも増して、あいさつができるようになって来ました。そして、上級生が下級生の面倒をよくみて登校しています。』という話がありました。先生はとてもうれしくなりました。そこで、もっともっと「いいね」とほめてもらえるように、今学期、つぎの2つについてがんばってもらいたいと思います。一つ目。登校中、地域の方や通りすがりの人、中学生にあいさつをしましょう。だれともあいさつをしないで登校することがないようにしましょう。「おはようございます」「いってきます」「ありがとうございます」気持ちよいあいさつができるといいですね。二つ目。みんなで仲良く並んで登校しましょう。上級生の班長さんを先頭に、学校の玄関まできちんと並んで、安全に注意しましょう。この二つのことを守って、もっともっと地域の方たちにほめてもらえるように努めましょう。

校長先生のお話にもありましたように日本一の学校をめざしてがんばりましょう。みんなのがんばりを、先生は、みていますよ・・・」

この話を聞いていて私はこんな詩を思い出しました。

美しいことば

小暮 成美 著

おはよう

おはようございます。

あさもやの中から

すんだはりのある声がひびく

人の心にきょう一日のあかるい灯をともしことば

一日はこのことばからはじまる

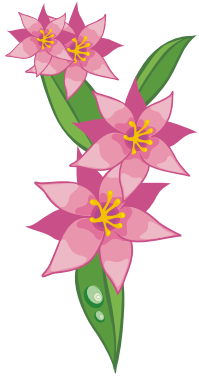
はい

さわやかな音感の心よさ

母なる国のことばのなかで

最高に光り輝くことば





ありがとう
すみません
ごくろうさま
豊かな心 広い心 温かい心 素直な心
わきでるこのひとことが
貪しい心を豊かにし
病める心をいやし
閉じた心をあけはなつ

おやすみなさい
さようなら
家路をいそぐ 夕暮れの街かどで
一日の学業を終え
一日の仕事を終えて
かわされる温かいねぎらいのことは
一日はこのことばで終わる

ふるさとの心うすれ
ひからびて とげとげしい世の中に
このことばのなんとうつくしいことよ



この詩から気付かされることがたくさんあります。双葉東小学校は「心の教育を中核とした東小教育」を掲げ、3学期に突入しました。価値観が多様化し、変化が激しい現代社会であり、ますます人間関係が希薄化傾向にあるだけに、不易の追求＝心の教育は大切になっています。心の教育は、この詩にある美しい（あいさつの）言葉が自然に発せられるところから一步が始まると確信します。だから日々、地域・保護者の方々からのご協力もいただき、『声かけあいさつ運動の推進』を行ってきたわけです。今後も引き続き取り組んでいく所存でございます。是非各家庭においてもよろしく願います。

児童会選挙に期待する！

平成21年11月24日に双葉東小学校選挙管理委員会告示第2号が出されました。それは、児童会役員選挙の立候補及び責任者のお知らせでした。会長4名、副会長7名、書記6名が立候補しました。

どんな選挙運動が展開されるだろう。学校や学校生活を見直すすばらしい機会になるだろう。と思っていましたが、ちょうど新型インフルエンザの影響がピークに達する時期と重なってしまい、年明けの15日（金）に児童会役員選挙立会演説会・投開票日の予定になりました。立候補者には、意欲を削いでしまった部分もあったと思いますが、逆に双葉東小学校平成22年度のあり方を考えてもらう、いい時間だったかもしれません。現在、平成22年4月の児童数は632名の予定です。児童会は児童会役員だけで出来るものではなく、児童一人ひとりの手で行うものですが、役員はその中心となり、方針を打ち出さなくてはならないことは確かです。だからこそ期待する部分が大きいわけです。全校児童がその気になった時、必ず学校は変わります。楽しみです。

